

第18期（平成25年度）

株主総会議案



（ 師走まつりの準備を地域の方と協働で実施しました ）

平成25年5月31日 金曜日

場 所：ホテルの里休暇村 ホテルの宿

株式会社 北川はゆま

会 次 第

- 開 会
- 社長挨拶
- 議長選出
- 議案事項

第1号議案：第17期（平成24年度）事業報告書及び収支決算書、株主資本等変動計算書承認の件

監 査 報 告

第2号議案：第18期（平成25年度）事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案：剰余金預け入れ先の件

第4号議案：任期満了による取締役選任の件

- 閉 会

会 社 概 要

- 商 号：株式会社北川はゆま
- 所在地：延岡市北川町長井5751-1
- 資本金：11,500 千円

◇ 延岡市	:	10,800 千円	216 株
◇ 延岡農業協同組合	:	500 千円	10 株
◇ 延岡地区森林組合	:	100 千円	2 株
◇ 北川町商工会	:	100 千円	2 株

- 役 員

- 取締役：5名
- 監査役：2名 計7名

代表取締役社長	首 藤 正 治	延岡市長
取締役副社長	宮 野 豊	北川町総合支所長
取 締 役	白 坂 幸 則	J A延岡代表理事組合長
取 締 役	甲 斐 斗志也	延岡地区森林組合組合長
取 締 役	盛 武 一 則	北川町商工会会長
監 査 役	早 瀬 純一郎	北川町地域協議会委員
監 査 役	甲 斐 増 男	J A延岡北川支店支店長

- 施 設

- 道の駅 北川はゆま (物産販売所 飲食店等)
- ホタルの里休暇村 (研修宿泊施設等)

- 従業員 (平成25年3月31日現在)

	道の駅	ホタルの里休暇村
◇ 正社員	4名	0名
◇ 準社員	2名	
◇ パート社員	13名	3名
◇ 嘱託社員		1名
◇ 清掃管理員	1名	
◇ 木工管理員	1名	
◇ 夜間管理員		1名
小計	21名	5名

合計 26名

● 会議

定時株主総会

- ・ 開催日 平成24年6月26日
- ・ 場所 ホタルの里休暇村 ホタルの宿
- ・ 出席役員 7名
- ・ 議題 第1号議案：平成23年度事業報告及び収支決算承認の件
第2号議案：平成24年度事業計画案及び収支予算案承認の件
第3号議案：剰余金の預入先について

第1号議案

第17期（平成24年度）事業報告書及び収支決算書、株主
資本等変動計算書承認の件

上記を次のとおり上程します。

平成25年5月31日

株式会社北川はゆま

代表取締役社長 首藤 正治

事業報告書

第 17 期 (平成 24 年度)

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

株式会社北川はゆま

「道の駅北川はゆま」 「ホテルの里休暇村」

第 17 期（平成24年度） 事業報告書

（自平成24年4月1日、至平成25年3月31日）

○概況

待望の東九州自動車道開通を迎え、「道の駅北川はゆま」「ホテルの里休暇村」が、地元延岡市民はもちろん県北地域住民から愛される施設となるよう取り組みを実施した。

また、観光客からは存在を意識してもらい何度でも立ち寄りたくなるような施設となるよう様々な新規の取り組みを実施した。

○活動内容

① 延岡の魅力を伝える。

（ア）高速開通イベント

- ・ 12/15～年末・年始：北川 I.C 開通時に他の施設や民間企業などと協力して開通イベントを実施した。
- ・ 2/15：蒲江～北浦間開通時に道の駅北川はゆまにおいて神楽を実施した。

（イ）延岡市等主催イベント

- ・ 伊勢えび海道（9月～11月）に参加した。
- ・ サマージャンボ宝くじの特設販売を行った。

（ウ）はゆま主催イベント

- ・ 毎月、「日曜朝市」（第4日曜日に実施）を開催した。
- ・ ゴールデンウィークに「露店市」を開催した。（4/28～5/6）
- ・ 盆期間に「にぎわい市」を開催した。（8/12～8/16）
- ・ 「師走まつり」を開催した。（12/28）

（エ）東京ガールズコレクション美級グルメスタジアムへ参加した。

② 楽しいドライブ・旅を演出する。

（ア）はゆまオリジナル商品の企画

- ・ 「南京ぼーい」「お茶々がーる」「清流北川の鮎もなか」を企画販売した。

（イ）売れ筋商品を強化する。

- ・ 日向夏ソフトクリームの質を向上させた。
- ・ チキン南蛮関連メニューの拡充を行った。「チキ南カレー」（テイクアウト用）

（ウ）サービスの拡充

- ・ 週末にレストランの夜間営業を実施した。
- ・ 大晦日の午前中まで営業を行った。

- (エ) スタンプラリー
 - ・ 東九州道開通記念スタンプラリー（延岡市・佐伯市の5道の駅にて実施）へ参加した。
 - ・ 九州・沖縄「道の駅」連絡会主催、宮崎県主催等のスタンプラリーへ参加した。
- (オ) パンフレットの作成
 - ・ 東九州道が入った観光マップを、北川町商工会と民間会社の協力を頂き作成し配布した。
- (カ) 大型宿泊予約客への協賛の実施
 - ・ スポーツ観光宿泊客に対し、商品の協賛を行った。
- ③ 快適なドライブ空間、宿泊空間を提供する。
 - (ア) お客様目線での情報提供（はゆま館）
 - ・ 分散していたパンフレットをお客様が使いやすいように一箇所へまとめた。
 - ・ 旅の悩みにこたえられやすい環境を構築した。
 - (イ) 延岡ならではの景観形成
 - ・ 北川ならではの西郷隆盛・ニギノミコトの顔出し看板を設置した。
 - ・ シロチョウザメの飼育展示を行った。
 - ・ チキなん番長モニュメントの設置とチキなん番長ラッピング自販機導入を行った。
 - (ウ) 宮崎ならではの景観形成
 - ・ 一般財団法人みやざき公園協会の協力によりブーゲンビリアを植栽した。
 - ・ ハンキングを使った彩りづくりを行った。
- ④ 利用者、口コミ客を増やす。
 - (ア) マスメディアの活用
 - ・ 12/13 NHKラジオ「ちょっと寄り道"道の駅"」へ電話出演した。
 - ・ 12/27 フジテレビ「めざにゆう」にて商品紹介を行った。
 - ・ MRT、UMK、ケーブルメディアワイワイの取材を多数受けた。
 - ・ 九州朝日放送「ドォーモ」（放送は4月下旬）へ出演した。
 - ・ 夕刊デイリー、宮日新聞、九州ウォーカー等の取材を受け、広告を多数掲載した。
 - (イ) 視聴者・読者プレゼントを活用した新商品PR
 - ・ ケーブルメディアワイワイへ商品提供を行った。
 - ・ 宮日、みちくさ、ふらっと等へ商品提供を行った。
 - (ウ) ソフトクリーム割引券の活用した来客数増加
 - ・ JAF、オリックスレンタカー、オレンジフェリー利用者への割引を実施した。

- ・ 北川町産業祭、佐伯市物産展、九州じゃらんほか読者特典へ協賛した。

⑤ 地域の憩いの場を提供する

(ア) 延岡市等主催の催事への積極的参加

- ・ ホタルまつり
- ・ 北川町産業祭
- ・ 祝子川産業祭
- ・ オータムフェスタ
- ・ 東京ガールズコレクション (プレイベント含む)
- ・ チキン南蛮党によるB-1グランプリ小倉大会

(イ) 各種団体や部活動のスポーツ合宿等の利用推進

- ・ 県内の高等学校(小林、高鍋、都城、門川)による部活動合宿の受入を実施した。

(ウ) 地域づくり活動への支援

- ・ 北川やっちみろ会と連携しホテルを活用した観光客誘致に努めた。
- ・ ホテルの里休暇村周辺の植栽手入れや水路の環境づくりなどを実施した。
- ・ 「道守」の活動へ参加した。

(エ) はゆま主催にて道の駅を盛りあげる。

- ・ 「魚つかみ大会」(8月)を主催した。
- ・ 「子どもクッキング」(7月)を主催した。
- ・ 「子ども木工教室」(7月、8月に数回)を主催した。
- ・ 「植木市」(3月)を主催した。
- ・ チキなん番長をラッピングした自販機、電光掲示板付き自販機を導入した。

⑥ 地域の安心の場を提供する

(ア) 地産地消の推進

- ・ 北川町学校給食センター、長井保育所、くまた保育園、緑ヶ丘小学校、南中学校、老人ホームきたがわ荘へ市内で生産された食材を納品した。

(イ) その他

- ・ 緊急避難先としての場所の提供を行った。
- ・ AEDを導入した。
- ・ 日曜朝市開催時に送迎車の運行を実施した。
- ・ 大分での激甚災害支援の一環にて、竹田市生産のスイートコーンを臨時販売し、利益を全額寄付した。

⑦ 地域収入を高める。

(ア) 出品者の収入向上の手助けを行う

- ・ 新規出品者の登録が一年間で37人と大幅増加した。(現在の全登録者数400名弱)
- ・ 「北川町園芸組合」「北川町高齢者大学」「延岡加工ネットワーク」で社員が

講師を務めた。

- ・ 売場の使い方を工夫し、売場面積を拡大させた。

(イ) 6次産業化、農商工連携の実施

- ・ 宮崎県6次産業化プロデューサー育成コースを社員が受講した。
- ・ 北川の生姜と米粉、北浦の天然塩を使った「のべおか生姜めん」を開発した。

(ウ) 延岡学園との業務提携の準備

- ・ 延岡学園調理科生徒の勤労観・職業観を育むとともに、地域力向上を目指した「地産地消商品の協働開発」「高校生の勤労体験と学習成果の披露」を行うための業務提携の準備を行った。

⑧ その他

(ア) 関連団体との連携と情報発信の推進

- ・ 「延岡観光協会」「延岡観光レジャー施設協議会」「宮崎県道の駅分科会」「北川やっちみろ会」「延岡発祥チキン南蛮党」「延岡サポートネットワーク」など関連団体と連携し様々な情報を発信した。

決 算 報 告 書

(第 17 期)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

株式会社北川はゆま

延岡市北川町長井5751番地1

貸借対照表

株式会社北川はゆま

平成25年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 42,171,159】	【流動負債】	【 18,185,235】
現金	4,478,603	買掛金	13,549,066
普通預金	9,435,119	短期借入金	405,291
定期預金	25,000,000	未払金	2,247,233
売掛金	252,221	未払法人税等	275,800
商品	627,905	前受金	165,200
原材料	1,830,191	預り金	266,245
未収入金	555,194	未払消費税等	1,276,400
貸倒引当金	48,074	負債合計	18,185,235
【固定資産】	【 1,200,922】		
(有形固定資産)	(1,200,922)		
建物附属設備	2,537,483		
機械装置	661,500	【株主資本】	【 25,186,846】
車両運搬具	2,146,105	資本金	11,500,000
工具器具備品	1,546,571	(利益剰余金)	(13,686,846)
減価償却累計額	45,690,737	その他利益剰余金	13,686,846
		繰越利益剰余金	13,686,846
		純資産合計	25,186,846
資産合計	43,372,081	負債・純資産合計	43,372,081

損益計算書

株式会社北川はゆま

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高		180,118,447
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,882,857	
仕 入 高	119,751,346	
* * 合 計 * *	121,634,203	
期 末 棚 卸 高	△2,458,096	119,176,107
	売上総利益金額	60,942,340
【販売費及び一般管理費】		70,964,111
	営業損失金額	△10,021,771
【営業外収益】		
受 取 利 息	184,309	
指 定 管 理 料	5,428,572	
受 取 手 数 料	4,649,211	
雑 収 入	626,398	10,888,490
【営業外費用】		
雑 損 失		494,708
	経常利益金額	372,011
【特別利益】		
貸倒引当金戻入益		4,898
	税引前当期純利益金額	376,909
	法人税、住民税及び事業税	275,800
	当期純利益金額	101,109

販売費及び一般管理費

株式会社北川はゆま

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	43,444,665
退 職 共 済 金	692,000
法 定 福 利 費	4,142,227
福 利 厚 生 費	859,467
旅 費 交 通 費	205,574
通 信 費	632,712
減 価 償 却 費	634,852
賃 借 料	1,262,081
保 険 料	148,349
修 繕 費	1,313,149
水 道 光 熱 費	8,861,154
燃 料 費	269,977
消 耗 品 費	2,655,960
租 税 公 課	107,316
運 賃	57,765
広 告 宣 伝 費	532,016
支 払 手 数 料	4,597,922
諸 会 費	374,487
新 聞 図 書 費	136,972
貸倒引当金繰入額	8,074
会 議 費	3,315
寄 附 金	10,000
試 験 研 究 費	14,077
合 計	70,964,111

株主資本等変動計算書

株式会社北川はゆま

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高		11,500,000
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		13,585,737
	当期変動額	当期純利益	101,109
	当期末残高		<u>13,686,846</u>
利益剰余金合計	当期首残高		13,585,737
	当期変動額		101,109
	当期末残高		<u>13,686,846</u>
株主資本合計	当期首残高		25,085,737
	当期変動額		101,109
	当期末残高		<u>25,186,846</u>
純資産合計	当期首残高		25,085,737
	当期変動額		101,109
	当期末残高		<u>25,186,846</u>

個別注記表

株式会社北川はゆま

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

①棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

計算書類作成のための重要な事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）	230株
-----------------	------

当期増加株式数（発行済普通株式）	
------------------	--

当期減少株式数（発行済普通株式）	
------------------	--

当期末株式数（発行済普通株式）	230株
-----------------	------

前期末株式数（発行済優先株式）	
-----------------	--

当期増加株式数（発行済優先株式）	
------------------	--

当期減少株式数（発行済優先株式）	
------------------	--

当期末株式数（発行済優先株式）	
-----------------	--

その他の注記

その他

有形固定資産の減価償却累計額 5,690千円

決 算 報 告 書

(第 17 期)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

㈱北川はゆま (道の駅)

延岡市北川町長井5751番地1

貸借対照表

㈱北川はゆま（道の駅）

平成25年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 44,509,312】	【流動負債】	【 16,621,342】
現 金	4,364,948	買 掛 金	13,402,651
普 通 預 金	9,299,133	未 払 金	1,630,172
定 期 預 金	25,000,000	未 払 法 人 税 等	275,800
売 掛 金	80,456	前 受 金	165,200
商 品	627,905	預 り 金	237,919
原 材 料	1,777,781	未 払 消 費 税 等	909,600
短 期 貸 付 金	3,100,000	負 債 合 計	16,621,342
未 収 入 金	259,089		
【固定資産】	【 1,200,922】		
(有形固定資産)	(1,200,922)	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	2,537,483	【株 主 資 本】	【 29,088,892】
機 械 装 置	661,500	資 本 金	11,500,000
車 両 運 搬 具	2,146,105	(利 益 剰 余 金)	(17,588,892)
工 具 器 具 備 品	1,546,571	そ の 他 利 益 剰 余 金	17,588,892
減 価 償 却 累 計 額	45,690,737	繰 越 利 益 剰 余 金	17,588,892
		純 資 産 合 計	29,088,892
資 産 合 計	45,710,234	負 債 ・ 純 資 産 合 計	45,710,234

損益計算書

（株）北川はゆま（道の駅）

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高		173,085,615
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,785,196	
仕 入 高	118,635,820	
* * 合 計 * *	120,421,016	
期 末 棚 卸 高	△2,405,686	118,015,330
	売 上 総 利 益 金 額	55,070,285
【販売費及び一般管理費】		59,597,319
	営 業 損 失 金 額	△4,527,034
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	184,121	
受 取 手 数 料	4,058,503	
雑 収 入	550,160	4,792,784
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失		494,708
	経 常 損 失 金 額	△228,958
	税 引 前 当 期 純 損 失 金 額	△228,958
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	275,800
	当 期 純 損 失 金 額	△504,758

販売費及び一般管理費

㈱北川はゆま（道の駅）

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	37,340,502
退 職 共 済 金	692,000
法 定 福 利 費	3,650,327
福 利 厚 生 費	859,467
旅 費 交 通 費	205,574
通 信 費	432,281
減 価 償 却 費	634,852
賃 借 料	1,164,993
保 険 料	118,029
修 繕 費	879,244
水 道 光 熱 費	7,155,676
燃 料 費	167,006
消 耗 品 費	2,067,801
租 税 公 課	97,279
運 賃	57,765
広 告 宣 伝 費	506,835
支 払 手 数 料	3,076,837
諸 会 費	326,487
新 聞 図 書 費	136,972
会 議 費	3,315
寄 付 金	10,000
試 験 研 究 費	14,077
合 計	59,597,319

勘定式決算報告書

(第 15 期)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(株)北川はゆま (ホテルの宿)

延岡市北川町長井5751番地1

貸借対照表

(株)北川はゆま (ホテルの宿)

平成25年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 783,826】	【流 動 負 債】	【 4,677,798】
現 金	113,655	買 掛 金	160,320
普 通 預 金	135,986	短 期 借 入 金	3,505,291
売 掛 金	185,670	未 払 金	617,061
原 材 料	52,410	預 り 金	28,326
未 収 入 金	296,105	未 払 消 費 税 等	366,800
		負 債 合 計	4,677,798
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 Δ3,893,972】
		資 本 金	0
		(利 益 剰 余 金)	(Δ3,893,972)
		その 他 利 益 剰 余 金	Δ3,893,972
		繰 越 利 益 剰 余 金	Δ3,893,972
		純 資 産 合 計	Δ3,893,972
資 産 合 計	783,826	負 債 ・ 純 資 産 合 計	783,826

損益計算書

(株)北川はゆま (ホテルの宿)

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高		8,008,033
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	97,661	
仕 入 高	2,090,727	
* * 合 計 * *	2,188,388	
期 末 棚 卸 高	△52,410	2,135,978
	売 上 総 利 益 金 額	5,872,055
【販売費及び一般管理費】		11,358,718
	営 業 損 失 金 額	△5,486,663
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	188	
指 定 管 理 料	5,428,572	
受 取 手 数 料	590,708	
雑 収 入	76,238	6,095,706
	経 常 利 益 金 額	609,043
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	609,043
	当 期 純 利 益 金 額	609,043

販売費及び一般管理費

(株)北川はゆま (ホテルの宿)

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

単位：円

科 目		金	額
給 与 手 当		6,104,163	
法 定 福 利 費		491,900	
通 信 費		200,431	
賃 借 料		97,088	
保 険 料		30,320	
修 繕 費		433,905	
水 道 光 熱 費		1,705,478	
燃 料 費		102,971	
消 耗 品 費		588,159	
租 税 公 課		10,037	
広 告 宣 伝 費		25,181	
支 払 手 数 料		1,521,085	
諸 会 費		48,000	
	合 計		11,358,718

平成 25 年 5 月 27 日

第 17 期（平成 24 年度）監査報告

株式会社北川はゆま
代表取締役社長 首藤 正治 殿

監査役 早瀬 純一郎

監査役 甲斐 増男



1. 監査の実施概要

平成 25 年 5 月 27 日 道の駅北川はゆまにおいて、道の駅北川はゆま及びホテルの里休暇村の第 17 期の会計状況について監査を行いました。

尚、このたびの監査において、監査立会者は、支配人中島隆志、経理担当■■■■、経理担当■■■■の計 3 名でした。

2. 監査の結果

- ① 会計簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認めます。
- ② 貸借対照表及び損益計算書は、財産及び損益の状況を正しく示していると認めます。
- ③ 道の駅の現金・普通預金残高が多いため、定期預金の活用を検討してください。
- ④ ホテルの里休暇村の売上の減少が大きいため、工夫を行ってください。
- ⑤ 今後も売上増が見込めると思われますが、支出削減の努力、適切な人員採用を行ってください。

以上の通り監査報告を致します。

第 2 号議案

第 18 期（平成 2 5 年度）事業計画案及び収支予算案承認の件

上記を次のとおり上程します。
平成 25 年 5 月 31 日

株式会社北川はゆま

代表取締役社長 首藤 正治

事業計画書（案）

第 18 期（平成25年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

株式会社北川はゆま

「道の駅北川はゆま」「ホテルの里休暇村」

第18期（平成25年度）事業計画書（案）

株式会社北川はゆま

1. 基本方針

東九州自動車道「日向～都農間」、「佐伯～蒲江間」、「北浦～須美江間」の開通といった今後数年続く大幅な環境の変化に対応すべく、短・中期的な視点で以下の内容の活動を行う。

- ① 延岡の魅力を伝える
- ② 楽しいドライブ・旅を演出する
- ③ 快適なドライブ空間、宿泊空間を提供する
- ④ 利用者・ロコミ客を増やす
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する
- ⑥ 地域の安心の場を提供する
- ⑦ 地域収入を高める

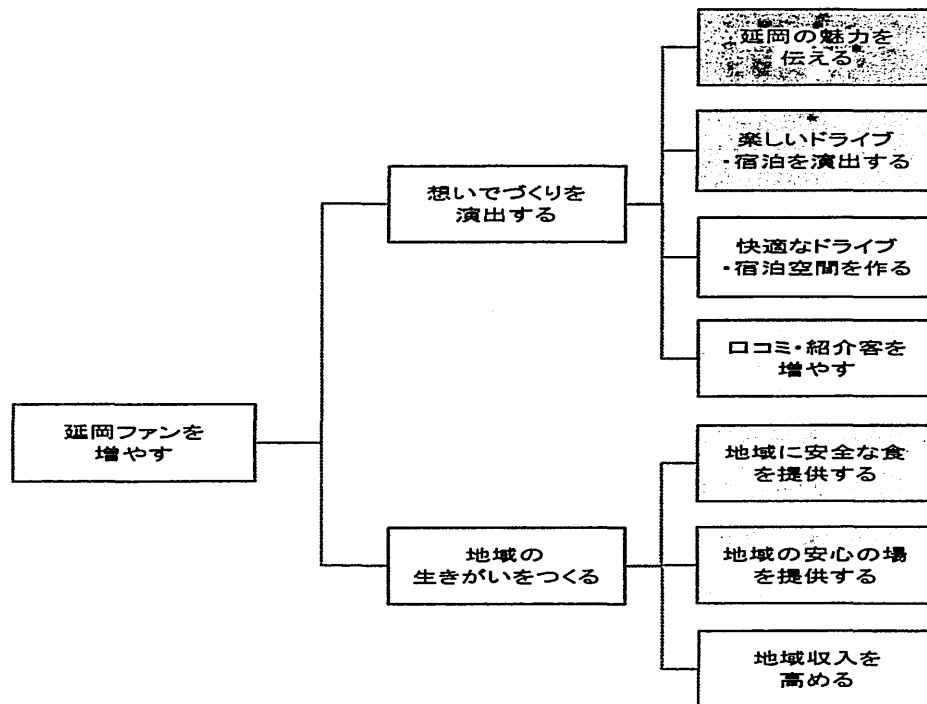


図1：株式会社北川はゆまが行うべき基本サービス系統図（案）

2. 取組内容（案）

（ア）道の駅北川はゆま

- ① 延岡の魅力を伝える：「延岡産化を目指した活動を行う」
 - はゆまならではの魅力的商品づくりを行う。
 - ・ 現在売上高の高い商品から順番に延岡産化を図る。
 - ・ 延岡学園高校との連携によるお土産づくりを行う。
 - ・ 鮎・鰻の店頭販売回数を増やす。
 - ・ 木工品の販売や木工教室を活用し木の良さを伝える。
 - ・ はゆまブランド商品の構築を行う。
 - 「ずばなもん」「三蔵会」商品コーナーを設置する。
- ② 楽しいドライブを演出する：「延岡の観光力向上策を行う」
 - 来客者向けサービス：延岡の観光情報を集約し、利用者のパターンに沿った情報提供を行う。
 - ・ 北川湿原や西郷隆盛宿陣跡資料館、ニニギノミコト御陵墓を活かしたコースの紹介を行う。
 - ・ 「延岡三蔵会」を巡るコースを考案する。
 - ・ 北川でのフットパスコースの構築と、延岡市内他地域でのコースとの連携策を講ずる。
 - 送り出しサービス：市外利用者の大多数の目的地と想定される「高千穂方面」「宮崎・日向方面」「大分・佐伯方面」それぞれの観光協会と連携し、合同企画イベントを行う。
- ③ 快適なドライブ空間を提供する：「実態に合った場の提供」
 - 利用者の実態に合わせた営業の実施
 - ・ 夜間営業を引き続き行う。
 - ・ レストランの定休日、年末・年始の定休日の見直しを行う。
 - ・ 地元の産物を活用したファーストフードの試験販売を行う。
 - ・ 団体客誘致に向けた施設改善の検討を行う。
 - 来場者の憩いの場を構築する。
 - ・ 子ども用木馬を修理・新装する。
 - ・ 連休、年末年始、農産物の収穫時期等、歳時記に合わせたイベントを実施する。
 - 社員全員が普通救命講習を受講する。
- ④ 口コミ・紹介客を増やす。
 - 市内レジャー施設との連携を積極的に行う。
 - マスメディアを活かした活動を行う。
 - ・ 地元マスメディアとの連携強化を引き続き行う。

- NHKや大分方面のマスメディアとの連携を強化する。
- 宮崎・大分方面での物産販売を行う。
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する。
 - 地域のイベントへの出店を増やす。
 - 他施設と連携し、市内や隣接自治体での物産市を行う。
 - 毎日来店したくなるレストラン・喫茶サービスを提供する。
- ⑥ 地域の安心の場を提供する
 - 防災ステーション機能の検討を行う。
- ⑦ 地域収入を高める。
 - 出品者協議会、園芸組合などと連携し、魅力ある商品づくり、売場づくりを行う。
 - ・ 少量・多品種の農産物生産を働きかける。
 - ・ 「西郷そば」を復活させる。
 - 出品ルールを再構築する事で延岡市全域からの出品環境の醸成を行い、魅力ある商品づくり、売場づくりを行う。
 - Facebook やHP、メールサービスを活用し、延岡圏域の方中心に農水産物の入荷状況、イベント情報を発信する。
- ⑧ 長期戦略の準備
 - 施設拡充の企画を行う。
 - 施設の長期修繕計画の企画を行う。
 - 延岡の産業基地として、農林水産物・加工品の創造・拡充の企画を行う。
 - インターネット販売をはじめとする販売体制の再構築の企画を行う。

(イ)ホテルの里休暇村

- ① 延岡の魅力を伝える。
 - 延岡の季節の便りを添付し、リピート客の利用を促進する。
 - 延岡・北川の味を活かしたメニューを提供する。
- ② 楽しい宿泊を演出する。
 - 四季を楽しめる演出を行う。
 - 体験型レジャーと宿泊のパック商品の提供を引き続き行う。
- ③ 快適な宿泊空間を提供する。
 - 木造家屋ならではの癒しのサービスを提供する。
 - AEDを設置する。
- ④ 口コミ・紹介客を増やす。

- インターネットによる宿泊予約サイト登録サイト数を増やす。
- ⑤ 地域の憩いの場を提供する。
 - 地域の集会や家族でのイベントに使って頂ける仕掛けを行う。
- ⑥ 地域収入を高める。
 - 体験型レジャーの紹介を行う。
 - 地域農林水産物を積極的に活用する。
- ⑦ 長期戦略の準備
 - 施設の長期修繕計画の企画を行う。
 - 施設活用の再構築を行う。

(ウ)道の駅北川はゆま活用調査研究事業

- ① 利用実態調査
 - 年4回それぞれ平日と日曜日にアルバイトを雇用し施設の利用者と交通量の調査を行う。
- ② ニーズ調査
 - 施設利用者及び他のサービスエリアや先進地等の利用者に対し、道の駅北川はゆまに対するニーズ等のアンケート調査を実施する。
- ③ 試験的な取組みの企画・実施
 - 開館時間の延長や新たな観光PRなど試験的に取り組める事業を企画し実施する。

2. 短中期戦略案

	24 上	24 下	25 上	25 下	26 上	26 下	27 上	27 下
高速の状況	部分開通		県内一体化		東九州一体化			
産物数増			物産開発、新商品投入 統一ブランド化企画		物産開発、新商品投入 統一ブランド商品投入			
売場面積			現行施設一体化 レストラン拡張検討		レストラン拡張設計・施工		レストラン拡張	
農林水産物再構築			北浦・北方からの集約		海：山：川売場の設置			
設備更新			設備更新申請		設備更新			
長期修繕計画	概算予算把握		予算化活動		大規模長期修繕			
売場再構築			第1次拡大		第2次拡大			

収支予算書（案）

第 18 期（平成25年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

株式会社北川はゆま

「道の駅北川はゆま」「ホテルの里休暇村」

平成25年度 収支予算(案)

道の駅北川はゆま

収入の部

単位；千円

科目	金額	説明
売上	210,000	物産館 157,500 レストラン 52,500
受取手数料	5,050	自販機手数料 3,720 宅配便手数料 100 木工室使用料 170 販売手数料等 1,060
受取利息	180	JA延岡 普通預金、定期預金
雑収入	600	公衆電話機 20 ソフトバンク電気料 165 加工部水光熱費 15 シャワー室 400
指定管理料	0	延岡市施設管理料
合計	215,830	

平成25年度 収支予算(案)

道の駅北川はゆま

支出の部

単位；千円

科目	金額	説明
仕入 (売上原価)	145,950	物産館 118,125 レストラン 27,825
退職金共済	1,050	中退金共済機構
給料手当	43,500	正社員 7名(補充含) 25,000 パート 13名 16,900 アルバイト 200 木工管理他 計2名 1,400
法定福利費	4,100	社会保険料 3,500 労働保険料 600
福利厚生費	780	厨房作業用具等 80 健康診断費 200 研修、慶弔費等 500
旅費交通費	300	会議出張等旅費
通信費	500	電話、ファックス、ネット通信
減価償却費	1,020	社用車 500 はゆま館屋根他 320 レジ機、冷蔵庫等 200
賃借料	1,240	電話機、コピー機リース 570 ティーサーバ、マット他 570 パソコン、ソフト機、ヘル 100
保険料	140	自動車共済、食品賠償共済、損害賠償
修繕費	1,000	厨房機器等修理他
水道光熱費	7,150	水道料 950 電気料 5,000 ガス料 1,200
燃料費	200	社用車ガソリン代
消耗品費	3,000	厨房用品、販売用品、事務用品等 清掃管理用品、木工用品他 菓子製造道具等
租税公課	100	自動車税、印紙等
支払手数料	3,760	浄化槽維持管理 1,260 電気保安業務料 160 機械警備、消毒 320 からくり時計メンテ 520 防災機器点検費用等他 1500
諸会費	350	社保協会、商工会、食品衛生、分科会等
新聞図書費	200	新聞代、参考資料等
会議費	60	生産者会議等
運賃	100	宅配便等、DM
支出計	214,500	仕入及び一般管理費 計
当期損益	1,330	経常利益
合計	215,830	

平成25年度 収 支 予 算 (案)

ホテルの里休暇村

収入の部

単位；千円

科 目	金 額	説 明
売 上	8,500	宿 泊 3,500 研 修 500 食 事 4,500
受 取 手 数 料	580	自販機手数料 20 公園植栽管理 560
雑 収 入	100	持ち込み料 100
指 定 管 理 料	5,429	延岡市施設管理料 (年契約 税込5,700)
合 計	14,609	

平成25年度 収支予算(案)

ホテルの里休暇村

支出の部

単位；千円

科目	金額	説明
仕入 (売上原価)	2,300	食事材料
給料手当	6,800	支配人 700 管理、接客 5,000 夜間管理 1,100
法定福利費	500	社会保険料 360 労働保険料 140
通信費	200	電話、ファックス、ネット通信
賃借料	70	マット類
保険料	40	自動車共済、食品賠償共済
修繕費	500	設備修理全般
水道光熱費	1,800	水道料 200 電気料 1,200 ガス料、重油 400
燃料費	120	社用車ガソリン代
消耗品費	650	厨房用品、事務用品等 客室用品等
租税公課	20	印紙等
広告宣伝費	60	チラシ、協賛広告等
支払手数料	1,500	浄化槽維持管理 650 電気保安業務料 110 害虫駆除作業 40 防災機器点検費用等他 600 旅行サイト手数料 100
諸会費	20	社保協会、食品衛生、等
支出計	14,580	仕入及び一般管理費計
当期損益	29	経常利益
合計	14,609	

平成25年度 収支予算(案)

道の駅北川はゆま

【東九州自動車道全線開通を見据えた「道の駅北川はゆま」の活用調査研究事業】

収入の部

単位；千円

科目	金額	説明
委託料 (延岡市より)	8,732	
合計	8,732	

支出の部

単位；千円

科目	金額	説明
需用費	785	看板製作 300 広告用チラシ印屏 100 その他 385
役務費	500	広告宣伝費
給料手当	4,486	給与 3,384 賞与 320 手当等 782
法定福利費	504	
福利厚生費	0	
旅費交通費	280	調査旅費
備品購入費	1,025	パソコン、プリンター等
使用料	60	
アルバイト賃金	1,092	
支出計	8,732	
当期損益	0	経常利益
合計	8,732	

第3号議案

剰余金預け入れ先の件

剰余金の預け入れ先は、延岡農業協同組合北川支店とすることについて承認を求めます。

上記のとおり上程します。
平成25年5月31日

株式会社北川はゆま

代表取締役社長 首藤 正治

第4号議案

任期満了による取締役選任の件

本総会終結の時をもって、取締役全員が任期満了となるため、
取締役5名の選任をお願いします。

取締役候補者は、次のとおりです。

取締役	首藤 正治	延岡市長
取締役	宮野 豊	延岡市北川町総合支所長
取締役	白坂 幸則	延岡農業協同組合代表理事組合長
取締役	甲斐 斗志也	延岡地区森林組合組合長
取締役	盛武 一則	北川町商工会会長

上記のとおり上程します。

平成25年5月31日

株式会社北川はゆま

代表取締役社長 首藤 正治